

ICAF とらのあな

学生アニメーション持込み上映・講評会 来たれ！参加者大募集！

ICAF(インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル)恒例企画
今年も特別持ち込み上映・公開講評会をオンライン開催です！！

立体・アニメーション・ゾートロップ作家

井上 仁行
(パンタグラフ)



©PANTOGRAPH

アニメーション演出家

山城 智恵



©2020 フライングドッグ/
サイダーのように言葉が湧き上がる製作委員会

アニメーション作家

和田 淳



©Atsushi Wada, New Deer

講評者

2021年9月25日(土) 15:00~17:30 / オンライン配信予定

■募集内容

アニメーション作品 (10分以内)

■参加資格

中学生 / 高校生 / 大学・大学院生 / 専門学校・各種学校生

※当日、オンライン講評会に参加可能な方に限ります。

■参加申込み (事前登録制・先着順)

9月22日(水)までに下記の専用フォームから必要事項を入力の上ご応募ください。

※参加希望者多数の場合や、著作権等の許諾を得られていない場合、また公の上映にそぐわない内容の場合など、上映が出来ないこともありますのでご了承ください。

※作品は別途事前に専用サーバーにアップロードしていただく予定です。

<https://forms.gle/N86fQdHAJ1aTQhzk7>

●井上 仁行 Masayuki Inoue / 筑波大学芸術専門学群

卒業。立体造形専門のアーティストユニット『パンタグラフ』を主宰。書籍・広告グラフィックやCM・短編アニメーション・ゾートロップ制作など幅広い分野で活動。著書に『造形工作 アイデアノート』、『パラレルワールド御土産帳』など。2015年 動きのカガク展(21_21 DESIGN SIGHT)、2015年~ 小学校算数・中学校数学教科書(学校図書)、2021年 文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品受賞など。



●山城 智恵 Chie Yamashiro / 1985年沖縄県生まれ。

東京工芸大学アニメーション学科卒。卒業制作にて人形アニメーション「おじいのサバニ」を制作(ICAF2008出品)。卒業後、(株)マッドハウスにて制作職に就いたのち、演出になる。

TVシリーズや劇場アニメーションの演出や助監督を務めたのち、フリーランス。仕事は在宅作業で二児の母。参加作品『劇場版レヴュースタアライト』『サイダーのように言葉が湧き上がる』など。



●和田 淳 Atsushi Wada / 1980年兵庫県生まれ。大阪

教育大学、イメージフォーラム付属映像研究所、東京藝術大学大学院で映像を学ぶ。『グレートラビット』(12)がベルリン国際映画祭短編部門で銀熊賞を受賞、『秋 アントニオ・ヴィヴァルディ「四季」より』(18)が新千歳空港国際アニメーション映画祭で日本グランプリを受賞する。2017年には横浜美術館、2018年には兵庫県立美術館で個展『私の沼』を開催。また、2020年にゲーム『マイエクササイズ』を発売。大手前大学准教授。



問い合わせ先: toranoana@icaf.info

ICAF 公式サイト: <http://icaf.info/>